

行事に向けて思うこと

校長 岩田 明正

私がこの学校に着任してから早2か月が過ぎようとしております。毎日、子どもたちの元気な笑顔にふれ、こちらの頬もつい緩みがちな日々を過ごしています。舞岡小の子どもたちは、豊かな自然の中、各ご家庭での愛情に包まれた生活により、心豊かでおおらかな、優しい人たちが多く感じています。このような人たちとともに過ごすことができ、本当に感謝しております。

さて、私がこの職業について、子どもたちに接するとき、常にこういうふうな人たちに成長してほしいなあという願いをもっています。それは「他人も自分も大切にできる人になってほしい」という願いです。学校で学ぶすべてのこと、運動も勉強も行事も、すべてのことは、人の「幸せ」につながっていくべきものだと考えています。それは自分自身の幸せであったり、自分をとりまく人々の幸せであったり、様々ですが、一つ声を大きくして言いたいのは、それが自分だけの！他人だけの！ということではないということです。自分だけの幸せを求めるなら、きっと周りの多くの人を傷つけてしまうでしょうし、他人だけの幸せを求めると、そこには必ず自分の気持ちに無理が生じてしまう。周りも自分もよかったなあと感じられる生活の仕方ができたら良いなと思うのです。簡単な言葉で言えば「お互いさま」という気持ちでしょうか。

なぜ、今回このような文章を書いているのかといいますと、6月から7月にかけて舞岡小学校では多くの行事が予定されているからです。運動会や宿泊行事などふだんの授業とは違った活動がたくさんあります。この「ふだんと違った」というのがポイントです。

行事は、目的に向かってみんなで力を合わせる。困っている仲間を手助けする。逆に困っているとこを助けてもらう。という体験を通してお互いに協力していく気持ちを育むことを大きな目標に掲げています。つまり「お互いさま」を、実体験を通して学ぶ場なのです。

また、行事では地域や保護者の方々などもかかわっていただくことも多いのですが、その方々のかかわりでも子どもたちは多くのことを学びます。例えば運動会などで、参加された方々が「お互いさま」の気持ちでみんなで気持ちよく見学してくださる姿や、自分たちが行事に参加するために努力してくださっている保護者の方々への感謝の思いが子どもたちの心を育てていきます。

ぜひ、多くの行事を通して、成功体験により自分も充実感を味わい、自分の力がみんなの力につながっていく満足感を味わって「他人も自分も大切にできる」気持ちを育ててほしいと願っています。そして、そのために教職員をはじめ、子どもたちにかかわるすべての人たちが手を取りあって協力できたらこんなに素晴らしいことはないと思っています。

1年生 パプリカダンスの衣装を作ったよ



毎日のように練習して覚えたパプリカダンス。いよいよ本番に向けてラストスパート！世界に一つしかない自分だけの衣装を一生懸命作りました。手はボンドでべとべと。でも、「早くこの服を着ておどりたいな。」とやる気をみせています。

2年生 「完成させるぞパプリカダンス！」



20日の校庭練習では、2回ある隊形移動の練習や、オリジナルダンスの練習を行いました。二週間も経たないうちにお手本がなくても、自分たちだけで踊れたり隊形移動ができたりしました。学年のダンス実行委員も作って頑張っています。

キラキラした笑顔で踊る運動会当日がとても楽しみです。

3年生 舞岡のまちを探検

屋上から舞岡のまちを眺め、方位を確認しました。その後、東西南北の4つのコースに分けて、歩きました。「家が多くて、スクールゾーンの看板が多い。」「駅や地区センターなどの人が集まる場所には、歩道がたくさんある。」など生活科のまち探検とは違った新しい発見がありました。



4年生 資源選別センター見学

5月8日に上矢部町にある戸塚資源選別センターに見学に行きました。びん・缶・ペットボトルのリサイクルについて理解を深めることができました。見学を通じて、ごみを捨てる時にごみをきちんと分別することの大切さを知ることができました。



5年生 はじめてみようクッキング

5年生からスタートした家庭科。子どもたちはどんなことを学習するのか楽しみに参加しています。自分や家族の生活を見つめながら、できることを増やそうというめあてをもって学習に取り組んでいます。先日は初めての調理実習

を行いました。ゆで卵やゆで野菜、カラフルサラダをグループのみんなで協力して作りました。



6年生 伝統を引き継げ！

舞ソーラン練習が始まってから、5年生と一緒に頑張って練習してきました。舞ソーランの伝統を引き継ぐために、



5年生一人一人に、思いのこもったはっぴを手渡ししました。高学年ブロックが一丸となって、全力の舞ソーランを踊ります。本番をぜひご期待ください！

開港記念式

5月28日(火)

横浜の開港160年をお祝いして、開港記念式を行いました。開港に至る経緯や横浜発祥のものをクイズ形式で知ること、これからの横浜も愛し発展しようという気持ちを持ちました。



ひまわり先生 ありがとうございました！

今年度は、15名のひまわり先生にお世話になり、ご活躍いただきました。年度初めから運動会が終わるまで、長い期間にわたり、子どもたちに寄り添いながら、お手伝いいただき、ありがとうございました。おかげさまで、1年生の子どもたちも安心して、元気に学校生活を送ることができました。引き続き教育活動へのご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

委員会紹介

5・6年生は、よりよい舞岡小学校にするための活動を考え、それぞれの委員会で役割を分担しながら、常時活動や集会活動などに取り組んでいます。5月9日には委員会紹介集会を開き、各委員会の活動について全校児童に伝えました。図工室前の掲示板で、委員会の活動計画をお知らせしています。



児童支援専任より

日が暮れるのが遅くなり、放課後遅くまで、外で元気に遊ぶ子どもたちの姿を多く見るようになりました。学校では、遊んでもよい時刻を守り、暗くなる前に、家に着くように帰ることを指導しています。各ご家庭でもお声かけをお願いいたします。

また、戸塚警察署より児童の歩きスマホで接触し、地域の方がけがをしたり、児童がけがをしたりする件が増えているそうです。高学年の児童には、歩きスマホの危険性について指導しました。

平成30年度学習状況調査の結果より

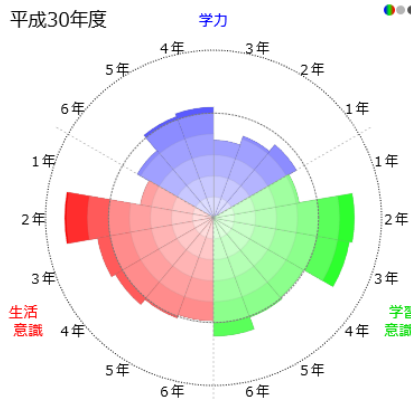
昨年度の2月に全学年で実施した『横浜市学習状況調査』の分析結果より、今年度の学習の取り組み等をお知らせいたします。

全体的に学習意識は高いが、学力に課題も見られます。また生活意識と学習意識がリンクしている点も特徴として挙げられます。

各教科における課題を明確にし、今後も引き続き、学力向上に向けた学習活動に取り組んでいきます。

●低学年からの継続的、丁寧な学習活動の積み重ね、授業の工夫に取り組んでいます。

●基礎基本の定着を目指し、短いスパンでの振り返りを行うことにより、効果的な学習活動を展開してまいります。



さよなら マイタ

連休中に、子どもたちの人気者だったアヒルのマイタが旅立ちました。聞くところによると20年近く飼われていたそうです。子どもたちに可愛がられて天寿を全うしたことと思います。

子どもたちがさよならのメッセージを寄せました。

